

無人島アドベンチャーキャンプ2019

～挑戦！ 仲間と共に～

開催要項

- 1 趣 旨 近年、科学技術の急速な進歩や経済の発展に伴い、生活水準が向上し、便利な生活が当たり前になった。その反面、都市化や情報化の進展に伴い、子供たちの様々な生活体験が不足し、社会性の未熟さや精神的な自立の遅れ等が課題となっている。そのため、コミュニケーション能力や他人を思いやる心などの豊かな人間性を育み、様々な自己決定の場を通して精神的な自立が促せるよう、各発達段階に応じた体験活動の推進が求められている。
- 無人島における集団生活は、豊かな自然環境に恵まれ、体験活動の場として大きな可能性を持つ反面、「不便」「不足」「不自由」な厳しい生活環境となる。その中で、各地域から集まった仲間たちと協働し、対峙する困難を乗り越えることで、協働や挑戦する事の大切さを学ぶことができる。また、人間の力が及ばない自然の偉大さに気づかせ、自然、家族、仲間への感謝の念を育むとともに、無人島で「生きる」技能を学び、その実践を通して自信を持たせることで自立心を高めることを目的とする。
- 併せて、施設の特徴や立地条件を活かした活動プログラムを企画立案し、事業の成果を明らかにして、その普及・活用を図ることとする。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家
- 3 後 援 沖縄県教育委員会、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会、琉球新報社、沖縄タイムス社
- 4 期 日 令和元年 7月22日(月)～7月28日(日) 6泊7日
- 5 場 所 国立沖縄青少年交流の家キャンプ場および渡嘉敷村儀志布島
- 6 対 象 小学5年生～中学3年生
- 7 定 員 24名(小学生12名、中学生12名)
- 8 内 容 (1) 無人島での生活(班別活動、ソロ活動)
大型カヌーでの上陸、漁労活動、野外炊事、無人島内散策等
(2) 無人島生活に必要なスキル「生きる」技能の習得
ビバークテント設営、スノーケリング、魚釣り、魚さばき、貝採集、塩づくり、火熾し、ロープワーク等

9 日 程

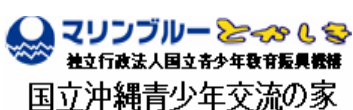
月 日(曜)	活 動 内 容			活動場所
	午 前	午 後	日没後	
7月22日(月)	泊港から渡嘉敷港へ 開講式 アイスブレイク	班の話し合い 野外炊事研修 ビバークテント設営研修	班での話し合い 装備品パッキング ふりかえり	キャンプ場
7月23日(火)	儀志布島へ移動 (9:30) 大型カヌーにて移動	スノーケリング練習 漁労講習会 食器づくり	ボンファイヤー ふりかえり 無人島での目標設定	儀志布島
7月24日(水)	班別活動 漁労活動、塩づくり	班別活動 漁労活動	ボンファイヤー ふりかえり	
7月25日(木)	班別活動 漁労活動、塩づくり	班別活動 漁労活動	ボンファイヤー ふりかえり	
7月26日(金)	班別活動 漁労活動	ソロ活動準備	ソロ活動 (18:30～翌7:00)	
7月27日(土)	班別活動 ソロ活動ふりかえり 漁労活動	班別活動 漁労活動 分かち合いの集い準備	分かち合いの集い	
7月28日(日)	機材撤収 移動(船) (7:30) 機材片付け	ふりかえり アンケート・感想文記入	渡嘉敷港から那覇泊港へ 無人島キャンプ報告会 ～解散～	那覇市内 キャンプ場

- 10 参加費 12,000円(食事代、保険代、Tシャツ代、雑費等) ※渡嘉敷島で徴収する。
上記以外に泊～渡嘉敷間の往復船舶代として小学生1,500円、中学生3,000円
が必要になる。
- 11 申込み 令和元年 6月10日(月)～6月17日(月) (必着)
別紙の参加申込用紙に必要事項を記入の上、下記までE-Mail、FAXまたは郵送での申込み。(E-Mail、FAXでの申込みの際は送信後、電話での確認を募集要項で伝える。)
※応募者が多数の場合は、様々な年齢、地域、学校から参加できるよう、学年・性別・地域や学校などを考慮し、厳正な抽選を行う。また、申込書の「無人島アドベンチャーキャンプの目標」を記入(本人直筆)してもらおう。
※参加決定のお知らせは、受付締め切りから10日以内の必要書類発送をもってかえる。
※定員に空きがある場合には継続して受付をする。
- 12 持ち物 ・着替え ・水着(ラッシュガード:長袖) ・マリンシューズ(運動靴でも可) ・帽子 ・水泳帽
・サンダル(クロックス型は砂をかんで不便です) ・タオル ・軍手 ・雨合羽 ・水筒(1.0～1.5リットルペットボトル可) ・洗面用具 ・リュックサック ・ヘッドライト(頭部装着用ライト) ・予備乾電池(ヘッドライト用) ・筆記用具 ・健康保険証(写し可) ・日焼け止めクリーム ・サングラス ・常備薬 ・参加費(渡嘉敷島で初日に徴収する)
※上記の物以外は持ってこないよう募集要項へ明記する。
- 13 留意点 ・那覇市泊港「とまりん」まで**保護者での送迎**を原則とする。
【送り】7月22日 9:00に受付し、その後に乗船券を配布する。渡嘉敷島までは交流の家職員が引率してもらおう。
【迎え】7月28日 17:40 沖縄船員会館2階第2会議室(那覇市)にて報告会(17:40～18:50)を行う。
・**集団活動を乱す、指導者の指示に従わない等がある場合は、主催者側の判断により、プログラム途中での保護者への引き渡しもある。その際は、保護者に那覇市泊港で迎えに来てもらう。**
・天候によって日程の短縮、宿泊場所の変更が生じる場合がある。
・特別に体を鍛えたり、豊富なキャンプ経験などの必要ないが、参加者は健康であることが必須条件になる。参加決定者には後日、問診票を提出してもらおう。(問診票の内容によっては、医療機関発行の健康調査票を提出してもらおう。)
・キャンプ中は十分な水分補給が可能であるが、漁労活動の状況等によっては、多少、空腹で過ごすことも考えられる。また、食材は捕獲した魚や貝が中心となり、**食物アレルギー等への対応は困難**である。
・**無人島を楽しむ企画ではない。**厳しい生活環境の中、様々な困難を乗り越える体験を重視したプログラムになる。そのため、無人島での生活を含む7日間を集団で生活する「このキャンプに参加したい」という**本人の強い意志**が必要となる。

※本事業中に撮影した写真や制作物、感想文等を当機構の事業報告書や広報等に使用し、ホームページにも掲載することがあるので、不都合のある場合は事前にご相談するよう呼びかける

※調査、研究のためのアンケート等にご協力いただくことを募集要項にて伝える。

※ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務にのみ使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示する事はない旨を募集要項にて伝える。



問い合わせ：国立沖縄青少年交流の家 企画指導専門職 真壁 義隆

〒901-3595 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷2760

TEL 098-987-2306 FAX 098-987-2318

HP <http://okinawa.niye.go.jp/> メール okinawa@niye.go.jp